

中央教育審議会企画特別部会第10回_提出資料(植阪友理)

- 「学びの主体的な調整」のイメージがなかなか通じにくい
社会と共有する必要があるのでは？

少し実践例を紹介：

1. 秋澤武志先生（元東京大学特任研究員，現神奈川県立高校の数学教員）の
2024年教育心理学会での発表から（一部抜粋）

求められている(学習指導要領,平成29年告示)

▶「主体的に学習に取り組む態度」の育成・評価

学びのコントロール ※生徒自身が

自分の学びについて

「課題を捉える」→「工夫・改善する」

「成果を得る」→「運用する」

▶ 数学の授業を通して、どのように伝えるか

キーワード：**共有する**

工夫②：ノートの取り方 「ポイント・教訓を残せ」

生徒のノート記述①

直線の方程式 (2)

点A(x₁, y₁), B(x₂, y₂) を通る直線の方程式

$$y - y_1 = \frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1} (x - x_1)$$

(x₁ ≠ x₂ のとき)

「間違えそうなこと」メモ

工夫②：ノートの取り方 「ポイント・教訓を残せ」

教員から生徒への指示「ノートに残して欲しいこと」

- ・教員, 自分のポイント
- ・行間
- ・教訓 (間違えた理由)
 - 「計算ミス」
 - 「符号間違え」
 - 「代入間違え」
 - 「見直しをする」など

工夫②：ノートの取り方 「ポイント・教訓を残せ」

□ 活動を促すための支援:小テストの〇付けの方法を共有

「どんな間違い？」

「なんで間違えた？」

「次に向けたアドバイス？」

工夫②：ノートの取り方 「ポイント・教訓を残せ」

□ 評価方法(提出物:ノート・問題集)⇒「提出点+分類点」

6点	丸つけ, 教訓やポイントや気づきを言葉で記述(少し)
5点	丸つけ, 間違えた箇所の途中式や考え方を記述
4点	丸つけのみ実施(間違えた所は答えのみ)
3点	全て解いているが丸付けなし
2点	途中式はあるが解いていない箇所がある
1点	答えしか書いておらず, 途中式なし
0点	未提出

説明の自己評価の視点

教科の見方・考え方を活用する

□ 観点別評価の項目

「知識・技能」

「思考力・判断力・表現力」

自己評価の方法【5段階】

↓ 以下のことが含まれているか ↓

- ① 数学の用語
- ② 定理・計算法則
- ③ 式のつながり
- ④ 図表を活用している
- ⑤ 計算ミスしそうなこと

工夫③：宿題 「説明動画作成」+「自己評価」

授業① 授業②

【宿題】 Google classroom活用

説明動画作成 + 説明の自己評価

(1分程度)

自己評価の方法【5段階】

↓ 以下のことが含まれているか ↓

- ① 数学の用語
- ② 定理・計算法則
- ③ 式のつながり
- ④ 図表を活用している
- ⑤ 計算ミスしそうなこと

主体的に学びに向かう態度向上のために

工夫①：授業流れ 「振り返りー説明活動」

工夫②：ノートの取り方 「ルーブリック提示」

工夫③：宿題 「説明動画作成+自己評価」

工夫④：試験のフィードバック 「能力別フィードバック」「学び方フィードバックシート」

全体のスライドはこちら：QR コード

<https://www.dropbox.com/scl/fi/o3vwgt4m070qk6vq31vpi/.pdf?rlkey=p33v7grhm30mstu1yi63isyg5&dl=0>



2. この他に，小学校，中学校の例も

自己調整学習研究会オープンセミナーより

<https://www.dropbox.com/scl/fo/rk5ne09ifep1i3x5vlib3/AFVix9RmCetdG-1w7pCZuOw?rlkey=6hig23h4uxh7ins637wnqhr0j&dl=0>

理論的な背景 (<http://bit.ly/3IbE8Aq>)

-小学校の事例 (<http://bit.ly/3GhPkuX>)

-中学校の事例 (<http://bit.ly/46mdvCY>)

Youtube 動画： <https://youtu.be/Vt1jBty-WNw>



動画



資料